

平成14年度 小学校ジョイフル英語学習実践事例

小学校名	東濃地区小学校	対象学年	6年	実施時期	10月
題材名	ハロウィーンがやってきた				
主な表現	・ bat, witch, skeleton, black, cat, spider, mummy, vampire, jack-o'-lantern, ghost, What do you want to be? I want to be a ~.				
補助資料	・ 絵カード (Lカード・Sカード)				
本時の目標	・ ゲームや会話を通して, ハロウィーンに関する表現に楽しむことができる。				
学 習 活 動	教師指導・援助		留 意 点		
1 Greeting A : Good afternoon. C : Good afternoon. A : How are you? C : Fine. Thank you.	A/J:和やかに明るい表情でありさつすることにより, 元気よく楽しく始められるような雰囲気づくりをする。		・ HRT, AET の指導・援助により, 児童をリラックスさせ, 伸びやかに活動できるようにする。		
2 ハロウィーンについての簡単な英語での説明を聞く。	A:絵を示すなどしてハロウィーンの説明をする。 J :AET の話に合わせて HRT が絵カードを見せる。		・ AET は, 児童にわかるようなスピードで話すように配慮する。HRT は, 児童の様子を把握し, 必要に応じて補足説明する。		
3 掲示用カードを使って, 仮装するものの名前に慣れる。 bat, witch, skeleton, spider, black cat, mummy, vampire, jack-o'-lantern, ghost	A:前時の復習を兼ねてアクセントを強調しながら話す。 J :掲示用のカードを見ながら, 児童と一緒に AET の言葉を繰り返す。 A:テンポ良くカードを提示しながら, 繰り返す。 J :発話に慣れていない児童には, 繰り返すなどして援助する。		・ よい発音をしている児童や積極的に発話している児童に, "Good job." "Nice work." "Very good."などと価値付ける。 ・ 発音しにくい単語は, 何度も繰り返したり, グループ・個人で発音する機会を作る。		
④ ハロウィーンゲームを楽しむ。 (1)基本表現に慣れる。 A : What do you want to be? B : I want to be a witch. What do you want to be? A : I want to be a ghost.	A/J:基本表現を使って, デモンストレーションを行う。 A:発音とアクセントに関して指導・援助をする J :個々の児童の様子をとらえ, 言えない子の援助をする。		・ 状況と英語が結びつくよう配慮する。 ・ ペア, グループで聞き合う活動をする事によって, 何度も発話する機会を設けコミュニケーションすることに慣れる。		
(2)"Monster Basket Game"をする。 10人程度で輪になって, ゲームを行う。	A/J:デモンストレーションしながら, ゲームの説明をする。		・ 動作を交えながら発話することにより, より自然に無理なく英語に慣れ親しむようにする。		
5 本時のまとめをする。	A/J:児童のよい姿を認め広げる。		・ コミュニケーションに進んで取り組んだ姿を認め, 広げていく。		
6 Greeting					